

介護と介助とは異なる

高校生の皆さんの中には、「介護」は「介助」のことであると誤解されている方が少なくないと思います。介助は英語で「help」あるいは「assistance」で、手助けすることを意味しています。しかし、介護は英語で「care」あるいは「nursing」であり、単に介助することではなく、自立を促進することを含んでいます。「nursing」は「看護」とも訳され、介護福祉士は看護師と類似の職種ですが、間違えやすいので看護師は nurse、介護福祉士は care worker（ケアワーカー）と呼んでいます。

ケアワーカーは、高齢者や障害者などの利用者さんが、介助の必要がなくなるようにと体力をつけて、活動が自立できるよう支援するという、とてもやりがいのある職業です。看護師は疾病を護り、ケアワーカーは障害を護ると考えると、理解しやすいです。

障害のある方は、身の周りのことが何もできない訳ではありません。自分でできることを介助してしまうと、その人の持っている能力は徐々に低下してしまいます。しかし、自分でできないことを手助けしないしていると、ストレスが溜まってしまいます。そこで、ケアワーカーは、「自分でできること」、「練習すればできるようになること」、「練習してもできるようにならないこと」を識別し（評価）、個々人に適切なプログラムを立てます。可能な限り、自立を援助する職種と言えます。

ホームページに戻る：<http://ojrat.gl.xrea.com/>